

第 18 回厚生常任委員会会議記録

開 閉 会 日 時	平成 27 年 1 月 16 日 (金曜) 午前 9 時 30 分		
	休憩時間 午前 10:18-10:30 10:57-10:57		
	午前 11 時 31 分		
会議場所	役場 3 階 第 1 委員会室		
出席委員 氏 名	委員長 岡崎榮太郎	委 員 唯野 義勝	議長 広瀬 重雄
	副委員長 高橋 仁美	委 員 吉田 敏郎	
			(欠席)委員 高橋 源
説 明 等 に 出席した 者の氏名	保健福祉課長 中川ゆかり		
	課長補佐 有澤 勝昭		
	介護保険係長 佐々木博史		
	在宅支援係長 塚田 直子		
	在宅支援係主査 高谷 真理子		
	子育て支援係主査 清末 祐二		
事務局職員	局長 西科 純	次長 剣持 和裕	
『会議に付した事件と会議結果など』			
1 開 会 委員長が開会を告げ、事務局長から本日の委員会の日程について説明する。			
2 議 件			
(1) 調査事項			
ア 第 6 期芽室町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定進捗状況			
について			資料 1、資料 2、資料 3
イ 第 4 期芽室町障がい福祉計画策定進捗状況について			
			資料 4
ア 第 6 期芽室町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定進捗状況			
について			資料 1、資料 2、資料 3
<ul style="list-style-type: none"> ・中川課長、高谷主査及び佐々木係長から説明後、質疑を行う。 ・高橋 (仁) 委員： 資料 1 のスケジュールであるが、予算案が示されるまでに固まることを望むがどうか。 ・中川課長： 2 月 21 日に答申を考えているので、対応できるものと考えている。 ・唯野委員： P 34 からであるが、課題は書かれているが対応についての記載は。 ・中川課長： 第 4 章に記載している。 ・吉田委員： 課題と対応であるが、次期計画で特に力点を置く政策は。 ・中川課長： 新規事業としては P 63 のケアシステムがある。 ・吉田委員： 課題についてはどう考えているか。 			

- ・中川課長： 第2章に記載しているとおりに。
- ・吉田委員： P72の緊急通報システムの利用者を200世帯としている根拠は。
- ・中川課長： 芽室町の設置は十勝管内では高い。携帯電話所持者が多い現状にある。
- ・吉田委員： 要望としては、多くないということか。
- ・中川課長： そのとおりである。
- ・高橋（仁）委員： P42の高齢者の食事サービス受給者は増えていないか。
- ・中川課長： P71にあるとおり、利用日数が増えている。糖尿病や腎臓疾患などの対応が増えている。
- ・高橋（仁）委員： 食事サービスの民間活用を進めるべきではないか。
- ・中川課長： そのとおりである。ボランティア部分で運んでいただいているが、システムをつくっていきたいと考えている。
- ・唯野委員： 課題と解決方法があまり変わらない。
- ・中川課長： 計画書では、すべてを網羅できないことを理解いただきたい。
- ・唯野委員： 現状、評価、課題、解決方法などを1枚で分かりやすくできないか。
- ・中川課長： 長々となってしまう。
- ・唯野委員： 資料として見づらい。
- ・中川課長： 以前も同様である。膨大な計画になるので、町民に分かりやすい資料とするためにダイジェスト版を作成している。

イ 第4期芽室町障がい福祉計画策定進捗状況について

資料4

- ・中川課長及び有澤課長補佐から説明後、質疑を行う。
- ・吉田委員： P20居住系サービスの充実の現状は。
- ・有澤課長補佐： P18のアンケート結果から現状では6名分のグループホーム入居が必要と判断した。
- ・吉田委員： P20であるが、相談支援事業所とあるが、どこか。
- ・有澤課長補佐： 帯広市内のNPO法人を想定している。精神障がいに特化したものを想定している。
- ・吉田委員： 発達支援センターの改築による新たなサービスは。
- ・清末主査： P14に記載のアウトリーチを充実できる。P15の学習上の支援を充実できると考えている。

3 その他

(1) 委員会の開催日時について 平成27年1月26日（月曜）午後1時30分

(2) その他

- ・政策提言内容について 協議の結果、正副委員長案に決定する。

以上をもって、委員会を終了する。

傍聴者数	一般者	2名	報道関係者	1名	合計	3名
記載のとおり報告する。						
平成27年1月16日						
厚生常任委員会委員長 岡崎 榮太郎						